

第8回 関東防災連絡会 議事要旨

1. 日時

平成29年2月2日（木） 13:30から15:00

2. 場所

さいたま新都心合同庁舎2号館 5階大研修室5A

3. 議事次第

別紙 議事次第のとおり

4. 開会挨拶（会長：関東地方整備局長）

「関東防災連絡会」は、東日本大震災を契機に首都直下地震など広域的かつ大規模な災害に対し、防災関係の行政機関及び公共機関などが連携して災害対応を効果的に推進することを目指して設立されたものである。

近年、明らかな気候変動傾向の中で、関東地方では、平成27年9月の関東・東北豪雨による堤防決壊が発生しており、全国的にも、時間雨量が50mm、100mmを上回る豪雨が増加している。

関東地方では、幸いに大きな被害はないが、昨年末の茨城県北部を震源とする震度6弱の地震の発生、全国では甚大な被害を出した昨年4月の熊本地震、10月の鳥取県中部地震などの地震が頻発している。

大洪水、大地震を人口・資産の集中した関東地方に重ねてみれば、その被害はとてつもなく大きなものになることは容易に想像できる。このような状況の中、ハード対策では防ぎきれない災害が必ず発生することを前提に、関係機関が一丸となって、事前・事後の両面から可能な限りの防災・減災対策を講じておく必要がある。

防災・減災対策は一朝一夕に達成できるものではないが、「備え」への停滞は許されず、各機関が連携しながら、不断に「備え」のレベルを上げていくことが社会的に求められている。

そのためにも、この関東防災連絡会が各機関において有意義なものとしてなることをお願いして、冒頭の挨拶とする。

5. 議題

以下の議題について、事務局から説明を行った。

(1) 平成28年度の取り組みについて

・資料1により、関東防災連絡会の設立経緯や平成28年度の取り組みについて説明。

(2) 平成28年度 首都直下地震防災訓練（実働訓練）の実施報告について

・資料2により、平成28年11月の首都直下地震防災訓練に併せて実施したメールによる情報共有訓練について説明。

6. 報告事項

以下の事項について、各機関が報告を行った。

- (1) 防災気象情報の改善（気象庁 東京管区气象台）
 - ・資料3により、新しい気象情報の提供方法について説明。
- (2) 熊本地震への国土地理院の対応（国土地理院 関東地方測量部）
 - ・資料4により、熊本地震での国土地理院の取り組みについて説明。
- (3) 今年度の災害概要と対応について（関東地方整備局）
 - ・資料5により、今年度発生した地震・風水害等の災害概要と関東地方整備局の対応について説明。

7. 閉会挨拶（副会長：関東運輸局長）

防災に携わる様々な機関がある中で、本会議のように平時より顔の見える関係を構築しておくことは大変重要である。また、会長の開会挨拶にもあったとおり、昨今の多様な災害が頻発する中で、ますます迅速な対応を求められることが多くなったと感じている。これらを踏まえ、よりいっそう連携体制の強化を図っていけるよう、各機関のご協力をお願いしたい。

最後に、本会議の準備として、幹事会、担当者会議に携わった皆様に感謝申し上げ、閉会の挨拶とする。